

東京創造芸術祭2026参加

平和に向けての サウンド駅伝 Vol.3

多彩な音がつなぐ、サウンドリレー



開催日時:

2026年 7月23日(木)

17:30開場 / 18:00開演 / 19:30頃終演予定



開催場所:

なかのZERO視聴覚ホール



入場料:

2000円

企画提唱: 池田一

主催: 小森俊明

協力: 河合孝治

後援: Chap Chap Records / 芸術メディア研究会

お問い合わせ: <https://www.tokyopaf.com/>

= 出演者 (五十音順) =

アース・アーティスト

・池田一 (いけだ・いち) / パフォーマンス

音楽家

- ・Akaciq (あかしっく) / アラビック・パーカッション
- ・香村かをり (こうむら・かおり) / コリアン・パーカッション
- ・河合孝治 (かわい・こうじ) / エレクトロニクス
- ・北沢直子 (きたざわ・なおこ) / フルート
- ・小森俊明 (こもり・としあき) / ピアノ
- ・棚谷ミカ (たなや・みか) / パーカッション
- ・玉響海月 (たまゆら・くらげ) / ノイズ、パーカッション
- ・玉響海星 (たまゆら・ひとで) / 琵琶、ヴォイス
- ・波田生 (はた・いく) / ヴィオラ
- ・牧野克彦 (まきの・かつひこ) / ハーディ・ガーディ
- ・丸田美紀 (まるた・みき) / 箏
- ・望月太喜之丞 (もちづき・たきのじょう) / 鼓

企画趣旨

4月に「平和に向けてのサウンド駅伝」を初めて開催し、その小規模版としての第2弾を5月に開催した。今回の企画はそれに続くものである。イスラエルと米国による世界各地の戦争は終る気配が無いが、これらは日本にとっても対岸の火事ではない。高市は防衛費増額、防衛装備移転三原則改悪を土台とした武器輸出拡大、憲法改正の推進、自衛隊の国防軍化、台湾有事発言、国家情報局設置の推進と、戦争準備に余念がない。

ところで、芸術家の役割は単に芸術を表現するのみで事足りるとして良いのだろうか？市民の反戦平和への思いというのは、世界中で新しい出来事が継起し、情報の洪水が毎日更新され続けていくなかで意識的に想起せねば埋没しかねないものであるがゆえに、反復的かつ継続的な意思表示が重要なのである。芸術家は表現行為でもってそれを進行しよう。

本公演では、音楽家12人による演奏とアース・アーティストの池田一氏による水を用いたパフォーマンスが交差し合い、平和への思いをそれぞれの仕方であって合う。水とはその向き合い方次第で人間を生かすもすれば殺すもする物質であり、不定形にして融通無碍な存在である。つまり、戦争と平和の間で揺れ動く人間にとって、生存に向かう水への対し方が平和の構築のメタファーとして機能し得ると理解することが可能である。

さまざまな文化が交流する場としての「水辺」と、音が集まり再出発する「音駅」という2つの概念を併せ持った場へ、是非参集して反戦平和への意思を共有してほしい。(小森俊明)